



「無題」 升山和明

障害者芸術・文化祭サテライト開催事業 tomoniアートのフェスティバル

いろいろなみんなの展覧会

種を、まく。

2020.10.8[木]-11[日] ぎふ清流文化プラザ



tomon
GIFU PROJECT

はじめに

岐阜県障がい者芸術文化支援センター（TASCぎふ）として3年目を迎え、全国障害者芸術・文化祭みやざき大会のサテライト開催事業として「いろんなみんなの展覧会 種を、まく。」と題した展覧会を、ぎふ清流文化プラザ 長良川ホールをメイン会場に2020年10月8日から11日の4日間開催しました。

まずは本展覧会におきまして各関係機関、企業、個人の方々をはじめとして、多くの皆様のご協力をいただきましたこと厚く御礼申し上げます。

昨年より、新型コロナウイルス感染症の広がりによって私たちの生活環境が一変してしまいました。これまでのTASCぎふが大事にしてきた「いろいろな人と多く繋がり交わること」を見直しせざるを得ない状況での開催となり、当初の計画では他県との連携事業として、県外作家の作品を紹介する予定でしたが、出品依頼を取り止めることにしました。

しかし、この状況を芸術文化支援のあり方を再考するよい機会と捉え直し、この日常生活の大きな変化に左右されず、いつもと変わらず制作し続けている作家を是非紹介したいという強い思いを持ちました。三つのキーワード“変わらないというチカラ”“まじわるかたち”“まじわるための種”をもとに、新たに発掘された岐阜県にゆかりのある注目作家を紹介する作品展示、アート・デザイン・ビジネス・福祉の分野をつなぎ新たな出会いと物づくりの可能性を提案する企画、そしてコロナ禍における人の移動や行動制限への対応として、インターネットを活用した方法を試行する場など多様な取り組みをしました。

コロナ禍の中、この展覧会がアートを通して、社会と障がい者を含めた多様な人々とどのように関わっていくかを考える場となれば幸いです。

2021年3月

センター総括 土屋 明之

CONTENTS

P.04 企画展 変わらないというチカラ

- P.05 升山 和明
- P.06 都築 一雄
- P.07 かていよしお
- P.08 カッチン
- P.09 不破 里子
- P.10 Kengo Shiraki
- P.11 クリヨシ
- P.12 森 豊和



P.14 まじわるかたち 社会 × アートのプレゼン展

- P.15 01 カミノシゴト
- 02 曾良貞義 × 216WORKS × ぎふちょう金山
- P.16 03 ワークサポートみやこ × フラマン
- 04 OKB 大垣共立銀行
- P.17 05 tomoni cafe
- 06 みずほ園 × 有限会社KEIZ
- P.18 07 boum × HARD WEAR FACTORY! 御嶽宿店
- 08 NPO法人 Mental Health Action Trust
- P.19 09 一般財団法人 岐阜県身体障害者福祉協会
- 10 早川工業株式会社
- P.20 11 tomoniつながる和綿プロジェクト
- 12 中部学院大学 教育学部
- P.21 13 情報科学芸術大学院大学 [IAMAS]
- 全国の取組み



P.22 ・ TASC-1 グランプリ

P.23 ・ 大道芸パフォーマンス



P.24 ・ 展覧会特設サイト

・ まじわるインタビュー



P.25 ・ グッズ紹介

・ 公募「種の絵」原画展示

・ ふしぎな制作体験「ハコモノトーク」



P.26 ・ tomoniアートサポーター

・ 巡回展

企画展

変わらないというチカラ

新型コロナウイルス感染症により社会の変化を求められている中、いつもと変わらず制作し続けている方がいます。

その変わらない姿勢は、変化せざるを得ない社会にとって北極星のような存在になるかもしれません。

TASCぎふの調査により発掘された岐阜県にゆかりのある注目作家を紹介する企画展です。



無題 紙、色紙、ポスターカラーペンなど



無題 紙、色紙、ポスターカラーペンなど



Shimizuya Violet 紙、色紙、ポスターカラーペンなど



タクシー-CRAFT! 紙、色紙、ポスターカラーペンなど



升山 和明 Masuyama Kazuaki 1967- | 岐阜県出身 | サンフレンド所属

“シミズヤ”万歳!

主に施設や週末に通っている芸術教室で作品を作られています。かつてお住まいの近くにあったデパート「シミズヤ」やタクシーに強い思い入れがあるようです。それらのモチーフをあの手この手で色紙に描き、切り抜いて、台紙に貼りつけていきます。時には複雑に重ねられる場合も。台紙の選択や画材は、支援者から提供されるもの次第ですが、「切って貼る」というコラージュは升山さんのこだわりです。そして「シミズヤ」やタクシーの世界が、自由に展開していきます。

作品制作の様子

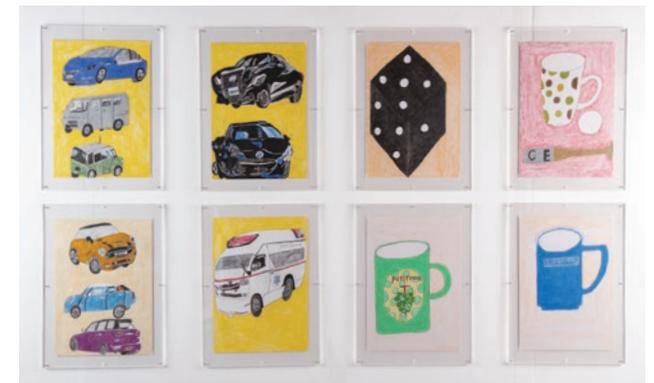




ギンザンマシコ | ハマナス | ハハコグサ | イボハダオサムシ
 サンコウチョウ | キンランカラスのエンドウ | タイサンボク | アカアシツヤクワガタ
 画用紙、色鉛筆



シューズ かわぐつ | キジ
 パワーショベル | しまうま
 画用紙、色鉛筆



自動車 | 岐阜トヨタ自動車 | サイコロ | コップ
 自動車 | 救急車 | コップ | 無題
 画用紙、色鉛筆



都築 一雄 Tsuzuki Kazuo 1949- | 岐阜市 | いぶき福祉会所属

なんでもない？ いいえ、とんでもない！

昆虫や花を中心に、図鑑を見ながら描いておられます。小さな写真や図が、四つ切サイズの画用紙いっぱいには拡大して描かれるさまは圧巻です。単なる模写ではなく、ある一部分が変形したり、強調されたりするところに、オリジナルな作品への昇華を感じます。また、色鉛筆の塗り方が丁寧で、近年、ますます密度が上がっているようです。作品数は300枚を優に超え、身の回りにあるものを描いた作品もごくわずかながら含まれています。





魚 紙、オイルパステル



無題 紙、オイルパステル



無題 紙、オイルパステル



かていよしお Katei Yoshio 1957- | 岐阜市 | あしたの会 家庭学校所属
色彩の魔術師

普段は施設でパンの製造を担当しています。早く作業を終わらせたいように見えるのは、早く絵が描きたいからなのでしょうか？ 施設職員の話では、作品を展覧会に出展したことがきっかけで絵を描き始めたそうです。コロナ禍において、さらに創作意欲が盛んになった様子。職員も大きな紙の調達などに俄然力が入ります。魚とクラゲ、UFO、城とゴジラなど、映画の1シーンのような組み合わせの妙というべき取り合わせ。そして、画面全体に色を重ねながら埋めつくす技は教えられたものではなく、描いているうちに編みだされた表現のようです。

作品制作の様子





かお 紙、ポスターカラーペンなど



カッチン Kattin 1971- | 多治見市 | 第一陶技学園所属

愛嬌のある顔の記録

職員の話では、なんと描き始めたのは2019年から! 毎日1~2時間、職員や他の利用者さんの顔をコツコツ描き続けているとのこと。正面から描かれた顔は、似たようなパターンで描かれています。めいめいのお人柄に合わせて描き分けておられるのでしょうか。ポスターカラーの基本色のみを使っているため、鮮やかな配色となっています。現在は、「アマビエ」の絵も描き続けておられるそう。疫病コロナ終息の願いが込められているのでしょうか。突如として開花した制作に対する情熱が、今、静かに爆発しているかのようです。





お花畑B 紙、ペン、ポスターカラーペン



flower 紙、ペン



flower 紙、ペン



不破 里子 Fuwa Satoko 1977- | 池田町 | ふれ愛の家所属

描きつづけます、評価されるまでは。

約2年前から施設の仕事の合間に描き始めました。はじめは家に咲いている花だけを描いていたのが、ある時から背景も塗りこむようになり、その後、過去の作品も同様に背景を塗りこみなおし始めたそうです。強い集中力のため手が痛くなる時も気力で乗りこえているそうです。「褒められたい」「お金がもらえたら、さらにうれしい」。優しくに見える笑顔の裏にはとても人間くさい抜け目なさもあり、絵を描く原動力にもつながっているようです。紙に残ってしまった余白は最後まで描き切れなかった軌跡。でもその余白が人間らしく、作品のアクセントとなっているように感じます。

作品制作の様子





紙、ペンなど



Kengo Shiraki 1966 - | 本巢市 | あしたの会 自然の家所属

日々のくらしの興味にあふれています

今日食べたいもの、今後行きたいところ、昔の記憶、いま関わっている人。そのすべてが、自分の身の回りの興味と直結しており、細かな部分まで記憶と思い出が及んでいるようです。同じ題材を何度も描くこともあり、気に入ったと思われる作品は部屋の中にも貼られていました。どんどん増える作品は母親が大切に保存しています。毎週末、1日8時間も机に向かって描くことが何よりも好きな様子。時間をかけて描いたり、塗りこめたりすることで、出来上がったにじみや色の重なりが、独特な味を醸し出しているように見えます。

作品制作の様子





名鉄ミュージスカイ 木片、ペン、オイルパステル



太多線（オレンジの車両） 木片、ペン、オイルパステル



東鉄バス 瀬戸行き 木片、ペン、オイルパステル



クリヨシ Kuriyoshi 1986 - | 多治見市 | 第一陶技学園所属
えがく、鉄ちゃん！

施設では、ガスコンロの点火プラグ部品の組み立ての仕事をしていたそうです。2020年の4月から制作を始めると、その手は止まることを知りません。端材に油性ペンとオイルパステルなどで電車やバスを描き、着色していきます。連結したり、台に並べたり、ジオラマあそびを楽しんでおられるのでしょうか。作品一つひとつに対する思い入れも強く、作品をアピールする姿が印象的です。今回、初のお披露目となります。

作品制作の様子





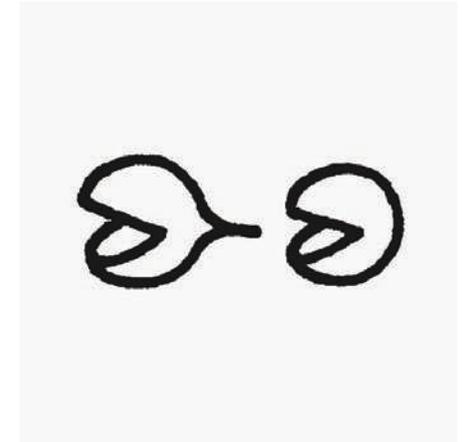
半信半疑 口から出てなくなるまでよくみる。



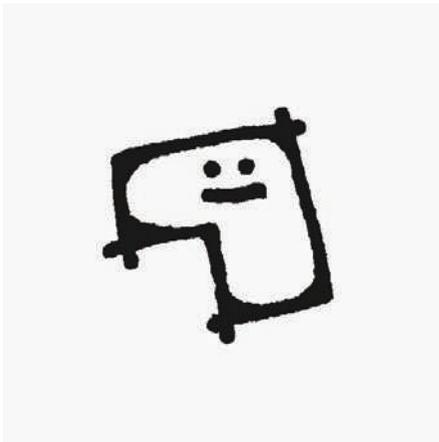
無題 出番だー仕事だー。



食事中 送受信する姿勢。



相談 ひとつまみ。ことばが話す。



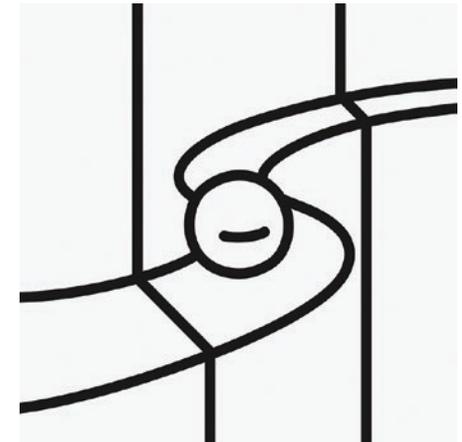
想定外 想定の外。想定内たちのなか。



いそいそ 付いてこない。追いつけない。



無題 これ以上、おなかせません。



Aim どこからどこまでか、自分で決める。



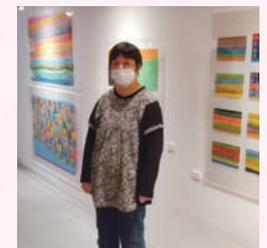
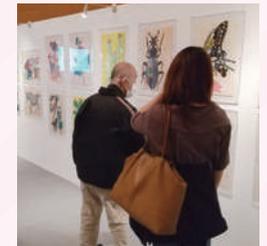
森 豊和 Mori Toyokazu 1984 - | 大垣市 | エイブルアート・カンパニー登録作家

アイコン奥の詩的世界

作家によれば、現在はことばからアイコンを描いているとのこと。アイコンのもつ明解な線と可愛らしさが最初に目を引きますが、タイトルのように脇に添えられた言葉が、詩的で、深淵な世界へといざなってくれます。鉛筆で描いた原画をパソコンに取り込み、加工しています。鉛筆の原画は作品ではないため現存せず、デジタルそのものが作品となります。ホームページには、多くの作品やさまざまな商品に活用された実例が掲載されています。
<https://toyokazumori.com/>



SNAP SHOT



まじわるかたち

社会 × アートのプレゼン展

人と人、人とモノ、モノとコトがつながる物語を紡ぎ、アート、デザイン、ビジネス、福祉の分野をつなぎ、世界を変革するための新たな出会いと持続可能な仕組みをつくるためのヒントや可能性を提案するプレゼン展です。

PRESENTATION
01 カミノシゴト



山田真己 「世界にひとつだけの花」

有賀宣美 「しゃぼん玉」

いろいろみんなの水うちわ

水うちわは雁皮紙という非常に薄い和紙を竹の骨に貼り、専用のニスを塗って仕上げた透明感のある質感が特徴で、岐阜ならではの川文化から生まれたものです。

カミノシゴトでは、今までに最前線で活躍しているアーティスト30名以上の作品を水うちわに描画し、企画展を開催、製品化してきました。今回の試みではそれらの経験を生かして、製品化し流通させる視点で有賀宣美さん、山田真己さんの作品が選択されました。

「プロのアーティストにも見劣りしない作品のなかで選ぶことは困難な作業でした。水うちわの透明感や形を引き立てる美しい色彩と構図だと思います」と家田社長は話します。

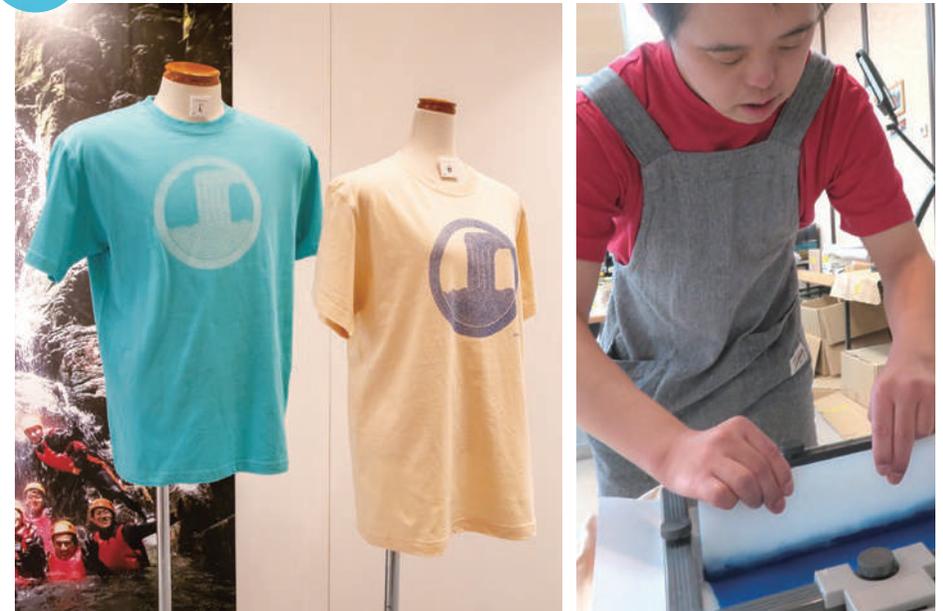


カミノシゴト

美濃市相生町2249 | <https://www.kaminoshigoto.com/>

明治22年創業。岐阜市今町にて美濃和紙の卸商を「入山十」という屋号で始める。昭和23年に法人化し、社名を家田紙工株式会社とした。平成24年に美濃市の店舗カミノシゴトを直営店として現在に至る。「和紙のある生活」をテーマに、手すき和紙を主な材料とした製品を開発、製造、販売している。

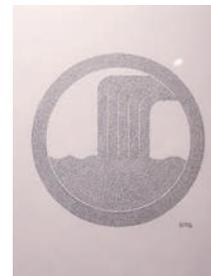
PRESENTATION
02 曾良貞義 × 216WORKS × ぎふちょう金山



ONE LINE ART のTシャツが紡ぐもの

本プロジェクトは、216WORKSが下呂市在住の作家・曾良貞義さんの作品で小坂の滝めぐりのガイドユニフォームを制作するという企画から始まりました。そのさなか、新型コロナウイルス感染症拡大、未曾有の豪雨被害によってプロジェクトの進行が止まりました。しかし当初の方向性を少し変え、販売用のTシャツを製作し、その売り上げを寄付金とする新たな目的をもち、再び動き出しました。

デザインは小坂の滝をイメージした曾良さんの描きおろし、シルクスクリーン印刷は同市にある就労施設ぎふちょう金山に依頼。下呂の地によって生まれたTシャツとなりました。



曾良 貞義 (そら さだよし)

シャープペンシルを使用して始まりから終わりまで1本の線で絵を描く“one line artist”として活動中。

216WORKS (ニジイロワークス)

下呂市小坂町赤沼田811-1 飛騨小坂ビジターセンター | <https://www.216works-jp.com/>
飛騨エリア、特に飛騨小坂における自然、文化、暮らしをベースにし、ヒト・モノ・コトを繋ぎ合わせたプログラムを軸にアウトドア観光を提供している。

ぎふちょう金山

下呂市金山町大船渡600-8
社会福祉法人下呂市社会福祉協議会 就労継続支援B型事業所。委託作業に加え、Tシャツのプリントなど自主製品づくりを行っている。

PRESENTATION
03

ワークサポートみやこ × フラマン



革製品のブラッシュアップ

5年ほど前からレザークラフトに興味をもった澤部さんと野村さん（ワークサポートみやこ所属）が、独特の2本針を使った手縫いを約1年毎日練習した末、バッグやキーホルダー、ポーチなど1点物のオリジナル商品を制作販売しています。

ワークサポートみやこの革製品について、二人が岐阜市内にある flamant（フラマン）店舗を訪ね、店長・高橋純子さんに具体的なアドバイスをもらい新たな商品開発へとつなげた取組み。手仕事の魅力を知る高橋さんの提案により、二人のクラフトマンシップを伝えるために新たな商品タグが作られました。



ワークサポートみやこ

岐阜市都通2-23 岐阜市福祉健康センター 2階

就労継続支援B型（30名）、生活介護（10名）の多機能型障がい者福祉通所事業所。委託作業に加え、布や革製品など自主製品づくりを行っている。

雑貨 flamant（フラマン）

岐阜市西部本郷1-22 | <http://www.mariposa-f.com/>

フェアトレード商品を中心に、ロシア雑貨、作家による雑貨作品、暮らしを丁寧に考える日用品などを扱う。

PRESENTATION
04

OKB 大垣共立銀行



障がい者自立支援への取組み

OKBグループ職員で構成する「OKB社会貢献クラブ」を中心に、特別支援学校との共同制作活動や部活動のサポート、療育センターに通う児童との交流等を行っています。また関連会社「OKBパートナーズ」では、「特例子会社制度の認定」を取得し、障がい者の自立支援や雇用の創出・拡大に貢献。さらに地元商店街「OKBストリート」内に業務スペースとして「OKB工房」を設置し、障がいのある方がやりがいをもち、働きやすい環境の中、営業店で使用する装飾品やノベルティの創作業務などを行っています。

障がい者のアート活動をサポートするべく、TASCぎふのワークショップで使用する「アトリエキット」を寄贈。またOKBギャラリーおおがきにおいて、TASCぎふと共同で「多様な有りよう展」を開催。さらに（公財）岐阜県教育文化財団と協定を締結して、OKB大垣共立銀行の現金封筒に障がいのある作家の作品を掲載する取組みが始まりました。



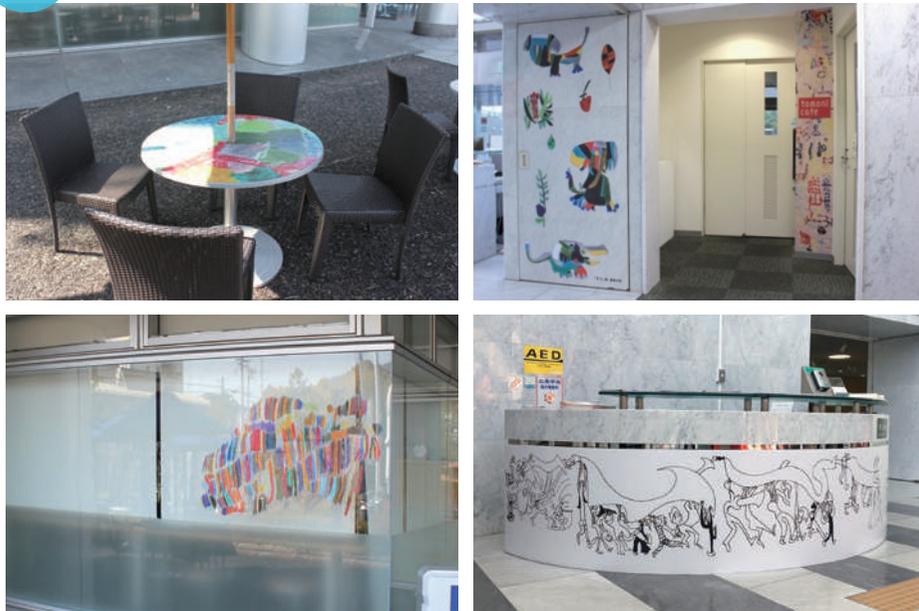
OKB 大垣共立銀行

本店/大垣市郭町3-98

明治29年創立。「地域に愛され、親しまれ、信用される銀行」この基本理念が示すとおり、OKB大垣共立銀行は地域の発展に資することを目指している。

PRESENTATION
05

tomoni cafe (トモニカフェ)



コーヒーとアートがともにある空間

トモニカフェでは、障がいのある方の作品を店内装飾や備品に活用し、作品の活用を提示しています。これまでカフェ前の庭園に設置された丸テーブルの天板やガラス面などの装飾、ランチョンペーパー、箸袋などに17点の作品を活用。ランチョンペーパーは封筒としても利用できるなど、環境への配慮も意識しています。今後も種類を増やしたり新たな活用法を提示したりする予定です。

また、3か月毎に館内の展示やギャラリー企画と連動して、福祉施設や個人作家のグッズの販売も行っています。作品やグッズ販売を楽しみにして下さるお客様も増え、作品や製品を通して、社会と障がいのある方がつながっていきます。

tomoni cafe

tomoni cafe (トモニカフェ)
 岐阜市学園町3-42 ぎふ清流文化プラザ1階
 ぎふ清流文化プラザ1階に併設され、飲み物やランチの提供に加え、TASCぎふとも連携を図りながら作品の展示やグッズの販売も行。堀池店長は「これまで障がいのある方もそうでない方も、みなさんに喜んでいただける場にしていきたいという思いできました。一人ひとりがこれから生きていく中で、やりがいや喜びにつながることを心から願っています」と話す。

PRESENTATION
06

みずほ園 × 有限会社KEIZ



まじわる つながる 楽しむ!

みずほ園の仲間が描く作品と郡上の地場産業であるシルクスクリーン、郡上踊りの必須アイテム手ぬぐい。それらをつなぎ、みずほ園の仕事とするプロジェクトです。ケイズからシルクスクリーンの技術指導を受けたみずほ園では新たな自主製品を作ることが可能となりました。休み時間の楽しみや気持ちを落ち着かせるための「お絵かき」が工賃に変わりました。絵が仕事となることで彼らのストレスにならないかとの心配もありましたが、褒められることで自信をもち、自らこんな絵はどうかとプレゼンしてくれるようになりました。また、地元企業とコラボしたことで多くの人に認識され、地元商工会からも発注を受けることとなりました。



みずほ園 郡上市大和町剣92-1

昭和54年から利用者の日中活動の場として下請け作業を中心に色々な授産品を製作し続けている。ミュージックベルの演奏やさをり織りに取り組むなど療育的な活動も積極的にやっている。



有限会社 KEIZ (ケイズ) 郡上市大和町島26 | <https://www.keiz-print.com/>
 「アイデアや技術をとおして、世の中を一步良くする」ことを理念とし、シルクスクリーン印刷による神社のぼりやのれん、手ぬぐいなどの製造から始まり、企画やデザイン、印刷まで行っている。

PRESENTATION
07

boum × HARD WEAR FACTORY! 御嶽宿店



このまちの展覧会

日常生活のちょっとした時間やとてつもない集中力から生まれる素敵な作品があります。せっかくなので、その作品を多くの人に見てもらう機会を提供して、作品をみることでみんなが笑顔になったり、ちょっと立ち止まって考えてみたりする。そんな場がいろいろな町につくれないだろうかという想いから、本プロジェクト「このまちの展覧会」は始まりました。

プロジェクトに賛同いただいた建築会社のご協力のもと、建築養生シートに作品を印刷し、建築現場に数か月展示されます。展示した後はバッグとして生まれ変わり、店頭（HARD WEAR FACTORY! 御嶽宿店）で販売されます。



boum (ブン)

グラフィックデザインや映像制作を軸に、企画提案・制作をしている。

HARD WEAR FACTORY! 御嶽宿店

可児郡御嵩町1555-2

全て自分自身で製作しているハンドメイドブランドで、職人が仕立てるオンリーワンの作品を提供している。

PRESENTATION
08

NPO法人 Mental Health Action Trust



アルテルフェア

アルテルフェア (Altefare) とは、アート (Art) と福祉 (Welfare) を結びつけた造語です。このプロジェクトは、障がいのある方のアート作品が社会で認知されると同時に、収入を得ることができるよう支援するもので、作品を企業等に貸し出し、その貸出料を作家に還元する仕組みを構築しています。作品を展示した後、作品購入につながることも多く、作家への収入向上に寄与しています。



NPO法人 Mental Health Action Trust

岐阜市野一色2-5-15 | <http://mhat.wp.xdomain.jp/>

国内外のメンタルヘルスに関わるプロジェクトを実施することを目的として、2018年に設立。ガンビアでの精神保健に関わる人材養成プログラムや県近郊で、ひきこもりの経験をもつ方にインタビューするラジオ番組、障がいのある方が描いた作品をプロモーションし、作家の収益を高めるプロジェクトを実施している。

PRESENTATION
09

一般財団法人 岐阜県身体障害者福祉協会



ふれあいアートステーション・ぎふ

平成7年9月から開始した「岐阜県障がい者アートバンク “ふれあいアートステーション・ぎふ”」は様々な障がいのある方々から作品を募集し、登録審査をしています。登録が決定した作品をデジタルデータ保存し、官公庁や団体・企業等への印刷物への利用を呼びかけ、有償で貸出しています。その貸出使用料の一部（概ね6割）を制作者に還元するシステムで、登録作品を社会的に活用してもらうことにより、障がい者の社会参加や才能を生かした自立の支援と生きがいづくりを推進しています。

また主催イベントにおいて、障がい者の作品を展示し、障がい者に対する理解と認識を深めるべく活動しています。



マーサ21での展示の様子

一般財団法人 岐阜県身体障害者福祉協会

岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉・農業会館5階
岐阜県身体障害者福祉協会 <http://human-i-land.com/kyoukai/>
ふれあいアートステーション・ぎふ <https://www.fureaiart.jp/>

昭和23年身体障がい者の福祉を自らの手で推進するために設立され、昭和28年に財団法人化。平成25年4月には一般財団法人に移行し、現在は県内16,000余名の会員と共に、身体障がい者の生きがいと自立を目指し活動を続けている。

PRESENTATION
10

早川工業株式会社

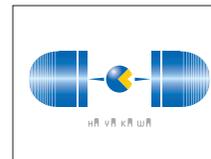


早川工業株式会社の日常

「個々に得意なこと、不得意なことがあるのは当たり前。そこに健常者や障がい者という線引きはなく、モノづくりをするプロセスにも線引きはない。」

早川工業の“日常”の作業風景を動画で紹介。個々の能力を生かして仕事をしているいつも通りの日常の風景です。

作業服や日誌などの展示においては“個性”を表現。いつもの風景やモノの切り取り方により、面白い表情を見せることがあります。



早川工業株式会社

関市肥田瀬345 | <http://hykw.co.jp/>

関市で従業員数25名の金属加工を行っている小さな町工場。会社で大切にしていることは、多様な価値観が調和し、各々の価値を認め、それ自体が価値となること。社員一人一人が多様な社会づくりの一員となり、日々を過ごしている。

tomoniつながる和綿プロジェクト



tomoni つながる和綿プロジェクト

～人と人、人とモノ、モノとコトがつながる物語～

日本の風土と日本人の肌になじむ繊維である「和綿」を、県内の耕作放棄地などを活用し、有機農法で育て、子どもから大人、障がいの有無に関係なく、種まき、収穫、綿繰り、糸紡ぎ、ミサンガ作りなどの様々なワークショップを行いながら、“心と身体に寄り添う”エコフレンドリーなオリジナル製品の開発を目指しています。またその中で、障がいのある方への新しい仕事の創出を目指し、障がい者×団体・企業を結びつけた各種プロダクト制作への試みなども行います。

近年は、全国各地で和綿栽培・製品化に取り組む団体をはじめ、岐阜県が友好交流協定を結ぶリトアニアのリトアニアリネと和綿との交流プロジェクトなども立ち上げ、各地との情報交流を行っています。



tomoni つながる和綿プロジェクト推進チーム事務局

岐阜市学園町3-42 (公財)岐阜県教育文化財団内 | <https://www.tomoni-pro.com/>
(公財)岐阜県教育文化財団は、障がいのあるなしに関わらず、新たな創造活動を行う「tomoniプロジェクト」を2015年より開始。翌年、アート、デザイン、ビジネス、福祉の分野をつなぎ、新たな出会いと仕事が生まれる場づくりとしての、安心、安全かつ土壌改良にもつながる有機和綿栽培を目指したプロジェクトを発足。現在、30組を超える団体や有識者、地域の方々が参加、活動している。

中部学院大学 教育学部



“あたりまえ”から飛び出せる専門家をめざして

中部学院大学の田中さんと廣海さんは約1年半前にJoさん(荻下丈)と出会い、彼の作品を地域の人たちに知ってもらうことを目的に、「Jo's World」のプロデュース活動を行いました。この活動をフィールドワーク研究と位置づけ、現在も卒業研究として取り組んでいます。

同大学の水野先生と八桁先生は学生の研究指導と並行して、日本におけるインクルーシブ保育・教育を実現するために、造形表現活動を軸にして過ごしてきたアーティストのライフストーリーに着目した共同研究を進めています。障がいのある方や彼らのアートと出会い、まじわることで、社会における“あたりまえ”を疑い、自分の価値観を揺さぶりながら、子どもたちの未来を考える活動です。



中部学院大学 教育学部 各務原市那加甥田30-1

2019年から活動を始めた、教育学部の学生2名(田中杏佳・廣海早紀)と教員2名(水野友有・八桁健)で構成されたボーダレスアート研究チーム。学生は保育者をめざしており、水野は発達心理学、八桁は美術教育を専門とする研究者である。

Jo (ジョー) <https://josworld.official.ec/>

下描きなしに伸びやかな線で描かれる絵は、アメリカのアニメなどからも影響を受けており、タブレットを用いてアニメーション作品なども手がける。何にもとられない自由な世界が魅力のアーティスト。

PRESENTATION
13

情報科学芸術大学院大学 [IAMAS]



音符カードプレーヤー



Open Hand Cycle



「福祉の技術プロジェクト」
インタビュー

福祉の技術プロジェクト

現代社会に生きる我々はライフスタイルのみならず価値観なども多様化しています。そうした中で時折感じる課題や不具合を技術で解決し、新しい生き方を提案、希望に満ちた未来を目指して活動しています。このプロジェクトでは、障がい者福祉などに代表される「狭義の福祉」に限定することなく、対象を幅広く取り扱っています。今回は以下の3点を紹介しました。

1. 視覚障がい者向け、音楽教材「音符カードプレーヤー」(2019)
2. 車椅子で生活する児童向け、手漕ぎ車椅子「Open Hand Cycle」(2019)
3. オンラインで福祉について相談・雑談をする「ワイド福祉の技術プロジェクト」(2020)

[メンバー] 山田晃嗣 (教員)、小林孝浩 (教員)、

篠田幸雄 (プロジェクト研究補助員)、湯澤大樹 (プロジェクト研究補助員)



情報科学芸術大学院大学 [IAMAS]

大垣市加賀野4-1-7 | <https://www.iamas.ac.jp/>

科学的知性と芸術的感性の融合を目指した学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、未来社会の新しいあり方を創造的に開拓する「高度な表現者」を養成するとともに、学術文化の向上及び地域の振興に寄与することを目的に、岐阜県が2001年に開学。卒業後はメディア・文化・芸術・デザイン・産業・研究・教育といった広汎な分野の第一線で活躍している。

全国の取組み

作品を鑑賞するだけに留まらず、全国各地で作品を活用した商品づくりなども取り組まれています。作品が生活の中に入っていくことで、より身近に作品世界を感じるのではないのでしょうか。

今回は他県8団体のグッズなどを紹介。TASCぎふでも本展覧会を機に、各スタッフの名刺に作品を取り入れたデザイン (製作：株式会社ヘラルポニー) にリニューアルしました。



リニューアルしたTASCぎふの名刺



紹介団体
エイブルアート・カンパニー
ダブディビ・デザイン
たんぼぼの家
ふくしごと
フクフクプラス
ヘラルポニー
Good Job! Center KASHIBA
Wajiya

TASC-1 グランプリ

各々「自分がみせたい!」と思うパフォーマンスを披露。楽しく愉快なバンドに、チームワークと楽器の調和が光る演奏、笑いと優しさに満たされた腹話術、音楽への愛に溢れた歌にダンス。また、コロナ禍のため動画による参加も受け付けました。気持ちが温かくなる絵本、洗練されたピアノ演奏。突き抜けた笑いと溢れんばかりの人間味がほとばしる唯一無二のグランプリとなりました。

動画で見よう!



NPO音楽クラブ



安藤 有沙



田口 京子



平岡 宏俊



ふれ愛の家



おといろアイランド



松田 優希子



渡邊 麻菜美



野田 奈緒美 動画参加



岩本 晃太郎 動画参加



須賀 梨帆 動画参加



YASUとユニコーンズ 動画参加



山田 正人 動画参加



JUN JUN 動画参加

大道芸パフォーマンス

動画で見てみよう!

スティルト（足長）のパフォーマンスで会場を独自の世界に引き込む黒ずくめの生命体。奇想天外な一人?プロレスで興奮を生むレスラー。怪しげなゴーグルに黒ジャケット姿で偶然を素材に笑いを作り出す二人組。愛と笑いを昭和の香りにのせて軽やかに届けてくれるパントマイムユニット。国内外で活躍するパフォーマー4組が、会場を笑いに包み込んでくれました。



ガンジスインダストリーダス



シルヴプレ



カナールベキノワ



マスクマスク・マンマン

展覧会 特設サイト (2021年3月末までの限定公開)



今回の展覧会をWEBでも楽しんでいただくため特設サイトを作成し、期間限定で公開。公開終了後もTASCぎふのYoutubeチャンネルでは、展覧会会場の360度動画をはじめとした様々なコンテンツをお楽しみいただけます。



TASCぎふ
Youtubeチャンネル

🔍 Youtube TASCぎふ

「企画展 変わらないというチカラ」作品・作家紹介



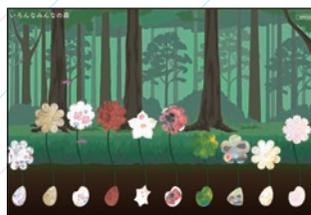
出展作家の制作風景動画や作品写真を紹介しています。また展示会場を360度撮影し、体感していただくことができます。さらに作品を見て感じた印象を色で表す「インプレッションカラー」により、閲覧者も参加できる工夫がされています。

「まじわるかたち 社会×アートのプレゼン展」出展紹介



県内企業や個人・団体のプロジェクトを紹介しています。作品の二次利用によって、作品に新たな命を吹き込んでいる取組みや、企業風土そのものが本展の描くべき姿であるなど、作品そのものとはまた違った魅力を感じていただけます。

いろいろなみんなの森



公募で集まった種の絵は会場で展示をすると共に、アニメーション化も行いました。種から色とりどりの花が咲き、展覧会タイトルを象徴する映像となりました。



動画で見てみよう!

まじわるインタビュー

「福祉・アート・まじわる」をキーワードに、県内外の有識者にインタビューを行いました。インタビューは特設サイトにて見ることができます。



動画で見てみよう!



大塚 千枝 さん

厚生労働省
障害者芸術文化活動支援専門官



大野 雅孝 さん

前 早川工業株式会社取締役社長



曽我部 弘樹 さん

岐阜県障がい者芸術文化支援センター
障がい者 tomoni トータルアドバイザー



中村 武文 さん

社会福祉法人 池田町社会福祉協議会
ふれ愛の家 副所長

グッズ紹介

今回は新型コロナウイルス感染症対策のため、施設や個人のグッズなどを販売する代わりに、アートや作品を活かしたグッズを展示し、QRコードなどで販売している場所や情報を伝えました。



公募「種の絵」原画展示

展示会の副題「種を、まく。」から、5種類のテンプレートを使って描かれた種の絵を募集し、319点が集まりました。



ふしぎな制作体験「ハコモノトーク」

1階ギャラリーで同時開催した「TASCぎふコラボ展 vol.6 そうぞうのパッケージ」の関連企画。顔を合わせずに、箱の中に造形を繰り返す共同制作を体験しました。3つの部屋に分かれたそれぞれの人が一定時間でフェルトシールを貼り、箱を数回交換して作品を仕上げました。[監修：コココ]



アートサポーターにより箱を交換

コココ：野呂祐人

TASCぎふコラボ展 vol.6「そうぞうのパッケージ」



tomoni アートサポーター

障がい者の芸術文化活動の支援とTASCぎふの事業推進に協力していただいているtomoniアートサポーターは現在30名を超え、本展でも様々な場面で活躍していただきました。

オンライン鑑賞ツアー

竹内久美子さん



サポーターがZoomにて展覧会場と鑑賞者をつなぎ、1対1で作品鑑賞を行いました。サポーターは、障がいにより来場できない方に会場を案内し、お互いに作品鑑賞を楽しみました。

ラジオ鑑賞「ラ美ット」

後藤理恵さん、安田香美さん [監修：MLA研究所]



展覧会場をZoomでつなぎ、出展作家2名の作品を見ながら、昨年からの研修で学んだ対話型鑑賞法を元にラジオ番組風に作品鑑賞を行いました。サポーターはラジオパーソナリティとなり、司会進行や質問しながら鑑賞を進めました。

ラジオ番組風に作品鑑賞を行いました。サポーターはラジオパーソナリティとなり、司会進行や質問しながら鑑賞を進めました。

制作体験「ハコモノトーク」補助

田上泉さん、八木裕史さん



「ハコモノトーク」参加者の案内や、箱の交換担当として活躍しました。

展示作業や挟み込み作業

高橋利佳子さん、田中修永さん、田上泉さん、八木裕史さん、ワンステップの皆さん



「種の絵」の原画の展示作業や、展覧会来場者に渡すパンフレットやチラシの挟み込み作業を行いました。

tomoniアートサポーター募集中!

tomoniアートサポーターは随時募集しております。
お申込み・お問い合わせは下記までご連絡ください。

岐阜県障がい者芸術文化支援センター (TASCぎふ)
岐阜市学園町3丁目42番地 ぎふ清流文化プラザ1F (公財) 岐阜県教育文化財団内
TEL : 058-233-5377 FAX : 058-233-5811 e-mail : tasc-gifu@g-kyoubun.or.jp

巡回展



空想生物展

「いろいろなみんなの展覧会」出展作家数名と地元作家も含めて、空想生物をテーマに再構成した企画展

2020年11月10日[火] - 23日[月・祝]

ミュージアム中仙道 岐阜県瑞浪市明世町戸狩331-1

[出展作家]

有賀宣美、大場竣、かていよしお、金丸慎、第一陶技学園、堀和暉、森豊和

[主催] 岐阜県、(公財)岐阜県教育文化財団 岐阜県障がい者芸術文化支援センター(TASCぎふ)

[共催] ミュージアム中仙道



多様な有りよう展2020

「いろいろなみんなの展覧会」出展作家数名と特別支援学校生徒、共催団体関連作家も含めて、再構成した企画展

2020年11月25日[水] - 12月20日[日]

OKBギャラリーおおがき 岐阜県大垣市高屋町1-59

[出展作家]

宇野智貴、都築一雄、不破里子、カッチン、難波岳雄、まーくん、クリヨシ、日比野浩之、升山和明、Kengo Shiraki、森豊和、特別支援学校生徒

[主催] 岐阜県、OKB 大垣共立銀行、

(公財)岐阜県教育文化財団 岐阜県障がい者芸術文化支援センター(TASCぎふ)

[後援] 岐阜県教育委員会



障害者芸術・文化祭サテライト開催事業

tomoni アートのフェスティバル いろんなみんなの展覧会 種を、まく。

会 期 2020年10月8日[木] - 11日[日]

時 間 10:00-17:00

会 場 ぎふ清流文化プラザ(2F 長良川ホール など)

入場料 無料

主 催 岐阜県

(公財)岐阜県教育文化財団 岐阜県障がい者芸術文化支援センター

後 援 (一財)岐阜県身体障害者福祉協会

協 力	家田紙工株式会社 一般財団法人岐阜県身体障害者福祉協会 一般社団法人岐阜県経済同友会 一般財団法人たんぼの家 エイブルアート・カンパニー MLA研究所 NPO法人障害者自立センターつかいぼう ビー・カンパニー NPO法人Mental Health Action Trust 大塚千枝 大野雅孝 荻下文 学校法人岐阜済美学院 中部学院大学 教育学部 株式会社大垣共立銀行 株式会社ダブディビ・デザイン	株式会社ふくしごと 株式会社フクフクプラス 株式会社ヘラルボニー 株式会社夢工房JIN 岐阜県障がい者雇用企業支援センター ぎふ木遊館 岐阜県福祉友愛プール Good Job! Center KASHIBA ココロ 社会福祉法人あいち清光会 サンフレンド 社会福祉法人あしたの会 家庭学校 社会福祉法人あしたの会 自然の家 社会福祉法人いぶき福祉会 社会福祉法人岐阜県福祉事業団 清流園	社会福祉法人岐阜市社会福祉事業団 ワークサポートみやこ 社会福祉法人下呂市社会福祉協議会 ぎふちょう金山 社会福祉法人陶技学園 社会福祉法人長良福祉会 アンダンテ 社会福祉法人池田町社会福祉協議会 ふれ愛の家 情報科学芸術大学院大学[IAMAS] 関谷正和 曾我部弘樹 曾良貞義 田口翔大 tomoniアートサポーター tomoni café tomoniつながる和綿プロジェクト推進チーム事務局 216WORKS	中村武文 HARD WEAR FACTORY! 御嶽宿店 早川工業株式会社 フェアトレード&ロシア雑貨 flamant(フラマン) boum 安政ゆか 有限会社KEIZ Wajiya 他 (敬称略・五十音順)
-----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

制作・発行 (公財)岐阜県教育文化財団 岐阜県障がい者芸術文化支援センター

発行責任者 理事長 高木敏彦

写 真 (公財)岐阜県教育文化財団 岐阜県障がい者芸術文化支援センター

株式会社ダブル・エディション

TERAMAKI

デザイン 岩田和也(プラグラフ)

お問い合わせ 岐阜県障がい者芸術文化支援センター(TASCぎふ)

〒502-0841 岐阜県岐阜市学園町3-42 ぎふ清流文化プラザ1F (公財)岐阜県教育文化財団内

TEL 058-233-5377 | FAX 058-233-5811 | MAIL tasc-gifu@g-kyoubun.or.jp

WEB <https://www.seiryu-plaza.jp/tasc/>



岐阜県障がい者芸術文化支援センター
tomoni アートサポートセンター